

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	与那原マリーナ	対象年度	令和3年度
------	---------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認		
1. 維持管理業務	1
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
(7) 料金徴収業務		
2. 運營業務	3
(1) 利用実績		
1) 収容数		
2) 付帯施設 利用率数		
(2) 運営企画		
(3) 受付・接客		
(4) 苦情・要望等		
(5) 広報		
(6) 情報管理		
3. 自主事業	5
II. サービスの質の評価	6
1. 維持管理業務		
2. 運營業務		
3. 自主事業		
4. 総合評価		
III. サービスの安定性評価(財務状況)	7
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価	9
1. 目標		
2. 評価結果		

※必要に応じて項目を追加・削除する。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	与那原マリーナ		対象年度	令和3年度
指定管理者	サンライズリゾート与那原マリーナ管理運営共同 企業体(構成員名:街グリーン(株)、(株)アイランドボート) 指定期間:H31年4月~R6年3月		所管課	土木建築部 港湾課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①管理棟、港内の 清掃 ②緑地芝刈り等 ③海上係留、陸置 保管施設の定期清 掃	○		事業計画のとおり 実施	現場及び業務報 告書にて確認	整合	利用者が快適に過ごせるよう 心掛け日々清掃を実施して いる。今後も適切な衛生管理 に努めること。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<日常点検> 機械の日常点検・ 月次点検を実施	○		事業計画のとおり 実施	現場及び業務報 告書にて確認	整合	・保守・点検業務の内容、実 施回数は妥当であり適正に 対応している。また点検後、 適切に実施簿に記録してい る。
<定期点検> 電気保安、水質検 査、消防点検、ク レーン等		○	事業計画のとおり 実施	現場及び業務報 告書にて確認	整合	・専門機関による保守・点検 業務の内容、実施回数は妥 当であり適正に実施してい る。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
昼間・夜間の常駐 警備		○	緑地・緑地以外も 均等に巡回	現場及び業務報 告書にて確認	整合	・施設の保安・警備について 適正に対応している。引き続 き施設の安全確保に努めるこ と。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
定期的な巡回によ り、異常があった場 合等50万未満の場 合は直ちに修繕措 置	○		給油所液面計プ リンター交換、20t クレーン巻き上げ 機修理など	現場及び業務報 告書にて確認	整合	機器の適正な使用や定期的 なメンテナンスを実施し、コス トの削減を図ること。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
業務効率化、サービス向上を図る目的で、必要に応じて購入	○		パソコン、軽自動車(リース契約)など	業務報告書にて確認	整合	今後も適切な備品購入及び管理に努めること。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
安全管理業務全般 (自然災害・荒天時含め)	○		毎日巡回点検を行い、異常や危険箇所の早期発見に努めた。	現場及び業務報告書にて確認	整合	引き続き、体制の整備や訓練を実施し、緊急事態発生時に迅速な対応ができるよう努めること。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設使用料金の徴収、収納業務	○		事業計画のとおり	現場及び業務報告書にて確認	整合	遅延なく、県に納入した。

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加・削除して記入して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

1. 維持管理業務 取組改善案	利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施している、今後も機器の定期的なメンテナンスや点検を適正に実施し、不具合の予防や早期発見に努めること。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う県対処方針に基づき施設利用者制限等の対策も行い感染拡大防止に努めている。					
--------------------	--	--	--	--	--	--

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

2. 運營業務

(1) 利用実績

①収容数 ※実績値は年度末時点

海上係留(契約艇・外来艇)		R2年度実績	事業計画 (目標値)	R3年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
収容数 68	4月末時点	64	66	66	103%	100%	海上係留希望者には ウェーティング制度を とっているが、順番が ほとんど動かず、予 約申込者のみ増加し ている。
	9月末時点	63	67	66	105%	99%	
	3月末時点	66	68	68	103%	100%	
	平均値	64	67	67	104%	100%	-

評価(①利用状況)

A

陸置場(契約艇・外来艇)		R2年度実績	事業計画 (目標値)	R3年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
収容数 128	4月末時点	24	30	37	154%	123%	区画を増設したこと で、陸置場利用者の 増加に対応できた。
	9月末時点	24	40	58	242%	145%	
	3月末時点	30	50	64	213%	128%	
	平均値	26	40	53	204%	133%	-

評価(①利用状況)

S

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

②付帯施設 利用数 ※実績値は年度内総数

		R2年度実績	事業計画 (目標値)	R3年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
付帯施設	クレーン	271	350	416	154%	119%	許可艇や外来艇に 幅広く利用された。
	貸出用船台	382	500	745	195%	149%	利用者のニーズに 合った船台を提供で きた。
	船具倉庫	42	30	22	52%	73%	倉庫はすべて契約 済。増設の要望多 い。
	研修室	267	250	97	36%	39%	船舶免許講習の利 用が減少した。
	計	962	1130	1280	133%	113%	-

評価(①利用状況)

S

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開港日数〉 休港日は火曜日と12/29～1/3	県条例に基づく 開港日とする	業務報告書にて 確認	整合	当該項目は管理事務所の営業時間・ 日であり、契約艇及びオーナーのマ リーナへの入出港は年中自由となっ ている。 (外来艇は一部制限あり)
〈開港時間〉 4～10月は、8時から18時30分 11月～3月は、9時から17時	県条例に基づく 開港時間とする	業務報告書にて 確認	整合	

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
公正、中立な利用 者対応	○		ウェイティング制 度や業者登録制 度等により、公正 をもって業務を実 施	現場及び業務報 告書にて確認	整合	艇の保管に関する問合せや施設利 用希望者が増加している。今後も規 則に基づいた使用許可業務と公正、 中立な対応を心掛ける必要がある。

(4) 苦情・要望等

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
ニーズを把握、分 析し適切に対応	○		スタッフ間で情報 共有し、早急な 対応策の検討を 図った	現場及び業務報 告書にて確認	整合	利用者とのコミュニケーションをとりつ つ、アンケートや意見交換を定期的 に実施し、サービス改善、向上を図 る。

(5) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
HPやパンフレット による情報発信	○		HPやブログの更 新、新しいパンフ レットの作成によ る情報発信	HP等にて確認	整合	SNS等を利用した情報発信を行い、 マリーナや海の魅力を伝える。

(6) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
適正かつ厳格に管 理	○		コンピューター情 報のセキュリティ 対策等、適正か つ厳格に管理	現場及び業務報 告書にて確認	整合	個人情報の扱いには万全を期してい る。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用者の利便性向上事業	○		・艇の上下架作 業に係る支援業 務 ・高圧洗浄機レ ンタル業務 ・船舶の洗浄、修 繕及び管理業務 ・船台レンタル業 務 ・備品レンタル業	現場及び業務報 告書にて確認	整合	各種船台を整備したことで上下架作 業が増え、支援業務やレンタル業務 が増加した。
各種カード発行事 業	○		・駐車パスカード の発行業務 ・クルーカード及 びビジターカード の発行業務 ・業者カードの発 行業務	自主事業申請に て確認	整合	セキュリティーを維持するために規則 に準じてカードを発行する。
給油所の管理運営 事業	○		船舶への給油業 務	現場及び業務報 告書にて確認	整合	利用者の増により昨年度より売上げ は増えている。引き続き安全確実な 業務を行うこと。
マリンレジャー普及 事業	○		・海技免許教室 業務 ・レンタルヨット業 務	自主事業申請に て確認	整合	コロナの影響で免許講習は昨年度よ り減少した。
岸壁へのビジター 船係留事業	○		マリーナ防波堤と 南側岸壁のピット を利用し係留	現場にて確認	整合	簡易フロートやはしごを設置したこ とで利便性が良くなり、利用者にも好評 を得た。引き続き利用者目線での利 便性向上に努めること
船だまり活用事業	○		船舶係留、陸置 き、資材積み込 みヤードとして利 用	現場にて確認	整合	陸置き場は空きスペースがあるため、 艇の保管やヤード使用等で有効利 用する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	施設の使用許可、受付、案内業務等を公正・中立に実施し、利用者間の平等利用及び施設の透明性の確保に努めること。自主事業については、広く県民が訪れる施設として、イベントの開催等を企画し、施設の利用促進に努めること。
-----------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和3年度)の主な取組改善案を記入し

II. サービスの質の評価

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者自己評価	現状分析・課題		
	R2年度評価	目標	R3年度評価				
維持管理業務 施設・設備管理	満足度)70% ・満足20% ・やや満足50% ・やや不満30% ・不満0%	<満足度> 90%	<満足度>100% ・満足80% ・やや満足20% ・やや不満0% ・不満0% <改善要望>ヤード内への入退場を簡単にしてほしい。機械化やスマホ対応等	S	日々の点検をかかさず実施し、設備に故障が生じたときは、速やかに修理し利用者の安全性確保に努めた。	セキュリティ面や費用対効果等勘案して検討が必要だが、清掃や巡回等の回数をできるだけ増やし、異常の早期発見や火災・盗難・損壊等の予防に努めること。	
運営業務	接客対応	<満足度>80% ・満足40% ・やや満足40% ・やや不満10% ・不満0%	<満足度> 100%	<満足度>80% ・満足60% ・やや満足20% ・やや不満20% ・不満0% <改善要望>声をかけにくい雰囲気がある。	A	日々の気象や海況等の情報を、掲示板や口頭で発信し、利用者とのコミュニケーションを図った。	引き続き窓口、電話対応等の一般マナー向上と、施設、船舶、海に関する専門知識向上を図ること。
	苦情等対応	<満足度>80% ・満足30% ・やや満足50% ・やや不満20% ・不満0%	<満足度> 90%	<満足度>80% ・満足40% ・やや満足40% ・やや不満20% ・不満0% <改善要望>声をかけにくい雰囲気がある。	A	意見箱や口頭による要望・苦情に、誠意をもって対応した。	利用者とのコミュニケーションを図り、利用者がもつ意見の言いやすい環境をつくることともに、SNSを活用した意見聴取等を検討すること。
	施設・設備	<満足度>90% ・満足50% ・やや満足40% ・やや不満10% ・不満0%	<満足度> 90%	<満足度>100% ・満足80% ・やや満足20% ・やや不満0% ・不満0% <改善要望>浮桟橋にクリートを増設してほしい。	S	陸置き場を増設したことで、保管やメンテナンスを目的とする多くの陸置き希望者に対応することができた。	海上係留、陸置き共に使用希望者が増えている為、バースの増設や陸置き場の確保等の課題がある。
	利用・契約条件	<満足度>90% ・満足40% ・やや満足50% ・やや不満10% ・不満0%	<満足度> 90%	<満足度>60% ・満足60% ・やや満足0% ・やや不満20% ・不満20% <改善要望>施設への立ち入りが厳しすぎる。もう少しオープンなマリーナにしてほしい。	C	契約者には面談を行い、マリーナのルールを説明した。また業者登録制度により出入り業者にも規律を遵守させた。	条例、規則を遵守した利用を徹底し、安心安全なマリーナ運営を図る必要がある。
自主事業	<満足度>70% ・満足20% ・やや満足50% ・やや不満30% ・不満0%	<満足度> 70%	<満足度>80% ・満足40% ・やや満足40% ・やや不満20% ・不満0% <改善要望>食事、喫茶処を場内につくる等、観光客や県民が交流できる場所を設けてほしい。	A	初めてのフィッシングフェスを無事に終え、東海岸の可能性と与那原マリーナの新たな魅力を伝えることができた。	条例等を遵守しながら施設の利用促進及び海洋レクリエーションの振興に努めること。	
総合評価 (各評価項目の平均)	<満足度> 80%	<満足度> 80%	<満足度> 88%	評価 (②満足度) A	重大な事故やトラブル無く、適切な維持管理を行うことができた。	利用者の意見や要望を把握し、より良いマリーナ運営を目指す。	

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

※1: 満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準(②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S : 90%以上
A : 80%以上、90%未満
B : 70%以上、80%未満

II. サービスの質の評価 取組改善案	施設利用者のサービス向上を大きな目的のひとつとし、利用者とのコミュニケーションを図り、利用者の立場に立ったサービスの提供を心掛ける。また、接客対応の向上、スタッフの技術と能力向上を図り、安心・安全な施設運営に努めること。
------------------------	--

※「II. サービスの質の評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目		令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
使用料 収入 (県へ帰 属)	海上係留・陸置場	60,782,801	65,000,000	72,406,180	119%	111%	陸置き契約の増加
	クレーン	965,260	1,200,000	1,248,880	129%	104%	利用者数増加
	貸出用船台	802,990	1,100,000	1,561,240	194%	142%	艇メンテナンスによる利用
	船台置場	998,520	1,100,000	1,328,000	133%	121%	船台置場契約の増加
	船具倉庫	1,140,412	1,100,000	1,122,330	98%	102%	すべてが契約中
	水上オートバイ	19,360	50,000	33,396	173%	67%	免許講習業者による利用
	ディンギー型ヨット	599,511	600,000	416,339	69%	69%	五輪合宿利用なしで減
	シャワー	164,800	170,000	92,000	56%	54%	—
	駐車場	4,438,200	4,500,000	4,233,300	95%	94%	—
会議室	272,340	200,000	98,940	36%	49%	船舶免許講習の利用減	
計	70,184,194	75,020,000	82,540,605	118%	110%	—	
指定管理料(県)(A)	44,305,000	44,305,000	44,305,000	100%	100%	—	
修繕費用・利子等(県)(B)	11,182,074	0	6,452,068	58%	#DIV/0!	修築費、受取利息	
自主事 業収入 (C)	ガソリン等販売	9,535,969	15,000,000	15,110,831	158%	101%	—
	自販機販売	224,275	230,000	226,293	101%	98%	—
	利用者利便提供事業(ビジター係 留、上下架支援、カード発行等)	8,573,822	10,000,000	8,808,579	103%	88%	—
	計	18,334,066	25,230,000	24,145,703	132%	96%	—
合計(D=A~C)	73,821,140	69,535,000	74,902,771	101%	108%	—	
(現状分析・課題)							
陸置き場を増設したことで、中型・大型艇の保管やメンテナンス艇の受入れに対応することができ、売上げ増加となった。自主事業では燃料販売と上下架作業等の売上げ増加が大きかった。							

(2) 支出(指定管理業務)

支出項目	令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
人件費(給与、手当、法定福利費等)	21,409,367	21,640,000	23,319,698	109%	108%	—
賃金	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	—
旅費	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	—
需用費 (消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱 水費、雑費)	7,719,922	7,720,000	7,572,140	98%	98%	事務用品、駐車券、 シャボ・草刈機他燃料、 研修受講費等
役務費 (通信運搬費、保管料、広告費、手数料、 保険料、廃棄物処理費)	1,533,740	1,140,000	1,456,120	95%	128%	パンフレット作成、賠償 保険、車両保険、搬込 手数料、支払報酬料等
委託料 (警備費、検査費)	10,530,418	11,205,000	11,622,595	110%	104%	常駐警備費、電気保安 管理、年次点検・検査料
使用料及び賃借料	589,731	600,000	717,496	122%	120%	コピー機、軽トラリース
備品購入費	0	400,000	118,888	#DIV/0!	30%	減価償却費
修繕費	13,871,644	1,200,000	7,097,977	51%	591%	クレーン修理、船台修 理等
その他(租税公課等)	9,370	400,000	8,000	85%	2%	—
合計(E)	55,664,192	44,305,000	51,912,914	93%	117%	—

(2) 支出(自主事業)

支出項目	令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
仕入高	8,843,500	12,000,000	12,571,270	142%	105%	燃料仕入れ
人件費(給与、手当、法定福利費等)	143,674	150,000	155,072	108%	103%	—
賃金	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	—
旅費	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	—
需用費	244,100	100,000	112,092	46%	112%	—
役務費	11,165	100,000	158,657	1421%	159%	カード払い手数料増加
委託料	660,000	0	0	0%	#DIV/0!	R2年度船舶管理外注
使用料及び賃借料	2,442	3,000	2,696	110%	90%	自動販売機使用料
備品購入費	353,449	200,000	102,650	29%	51%	—
修繕費	30,360	100,000	120,209	396%	120%	高圧洗浄機修理等
その他(租税公課等)	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	—
合計(F)	10,288,690	12,653,000	13,222,646	129%	105%	—
合計(G)	65,952,882	56,958,000	65,135,560	99%	114%	—

〈現状分析・課題〉						
修繕については年によってばらつきがあるため、要修繕箇所をランク別に分類し、効率的な修繕計画を立案し、修繕費の削減を図る。						
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。						
2. 経営分析指標						
評価指標	令和2年度実績	事業計画	令和3年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支 (H) (収入(D)－支出(G))	7,868,258	12,577,000	9,767,211	124%	78%	—
収益率 (事業収支 (H) / 収入合計 (D))	11%	18%	13%	122%	72%	収容率増により使用料も増となった。
収入比率 (自主事業収入 (C) / 使用料収入)	26%	34%	29%	112%	87%	—
人件費比率 (人件費 / 指定管理業務支出 (E))	38%	49%	45%	117%	92%	—
外部委託費比率 (外部委託費合計 / 指定管理業務支出 (E))	19%	25%	22%	118%	89%	—
利用艇あたり管理コスト (指定管理料 (A) / 利用艇数)	546,975	414,065	369,208	68%	89%	—
〈現状分析・課題〉						
コロナの感染防止対策として外来艇の利用制限を行ったが、契約艇が増加傾向にあるため、収入は増加している。今後もコロナの感染防止対策を行いながら、施設の活性化と県の収入増加につなげること。						
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。						

評価(③財務状況)

A

13.0%

【評価基準 (③財務状況)】
 収益率 (事業収支 / 収入合計)
 A : 0%以上
 B : -5%以上、0%未満
 C : -5%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	今後も適切な維持管理を行うため効率的な修繕計画を立案し、快適な利用ができるよう施設設備の水準を維持しつつ、修繕費の削減を図り、安定的運営に努めるとともに、外来艇の利用者獲得のため、多言語での情報発信等を検討していく必要がある。
----------------------------------	---

※「Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	(収入(D)－支出(G))	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	(事業収支 (H) / 収入合計 (D))	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
収入比率	自主事業収入(C) / 使用料収入	指定管理者の自主事業収入額を確認するとともに、使用料収入に見合った率であるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費 / 支出(指定管理業務) (E)	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計 / 支出(指定管理業務) (E)	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用艇あたり管理コスト (自治体負担コスト)	収入(指定管理料) (A) / 利用艇数 (ビジター及び契約者の延べ数)	利用艇1隻に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	備考	
成果指標	①利用状況	収容数	140	147	154	161	海上は満隻となり、今後は陸置の収容増を図る。
	②満足度	満足度	85%	85%	85%	85%	供用開始時より厳格なルール作りに努めたため、利用者からは好評である。
財務指標	③財務状況	収益率	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	船だまりを含め自主事業の拡張性は高いため、各種事業を早めに検討・着手する。

2. 評価結果

評価項目	評価指標	R2年度実績	事業計画(目標値)	R3年度実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	R4年度目標値		
				前年比	計画比						
成果指標	①利用状況	収容数	96	118	132	138%	112%	陸置き艇が順調に増えている。今後も増える見込みで規則に準じた使用許可を行う。	S	海上係留の予約が増える一方で、申込みを一時中断する等の対策を検討する。	140
	②満足度	満足度	80%	85%	88%	110%	104%	施設の維持管理、接客等に対する苦情はほとんどない。	A	アンケートや意見交換を定期的に行い、利用者のニーズを把握する。	90%
財務指標	③財務状況	収益率	11.0%	18.0%	13.0%	119%	72%	利用者の増加に伴い前年より増となった。	A	修繕計画を行い、適正な修繕業務を実施する。	18.0%
活動指標	④重点取組事項	自主事業の展開	ヨット教室	A	上下架支援作業	-	-	クレーンや船台の利用者が増え、上下架作業を安全に行う上で支援作業はとても重要である。	A	クレーン作業が増えている為、有資格者を増員し、作業の効率化を図る。	A

総合評価	S
------	---

※「現状分析・課題」「取組改善案」は6-1~IIIから転記する。

※「H30目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

- S : 110%以上
- A : 100%以上、110%未満
- B : 80%以上、100%未満
- C : 80%未満

②満足度

総合評価における満足度(各評価項目の平均値)

- S : 90%以上
- A : 80%以上、90%未満
- B : 70%以上、80%未満
- C : 70%未満

③財務状況

収益率(事業収支/収入合計)

- A : 0%以上
- B : -5%以上、0%未満
- C : -5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

- S : 目標を大きく上回る
- A : 目標を概ね達成
- B : 目標を下回る

【総合評価基準】

総合評価基準	
S	40点以上 かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

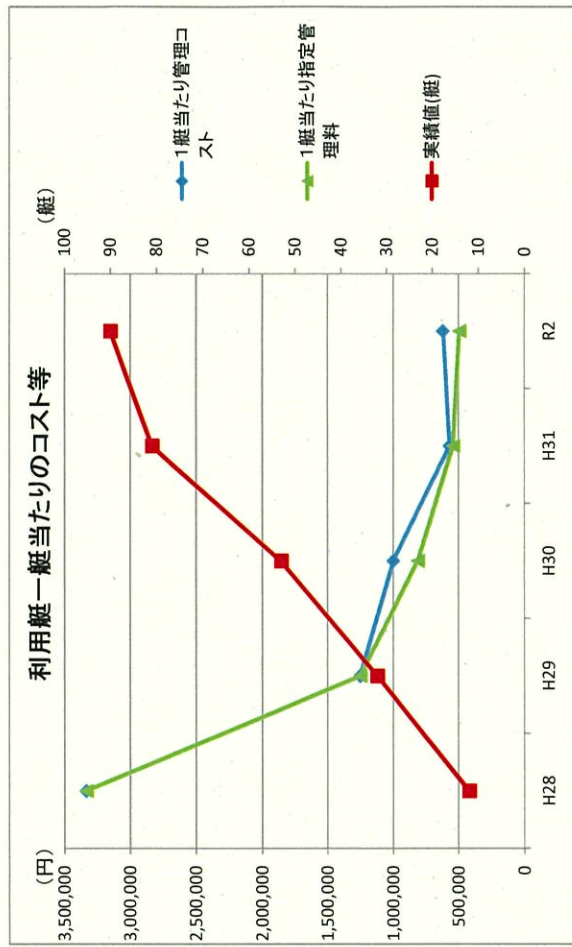
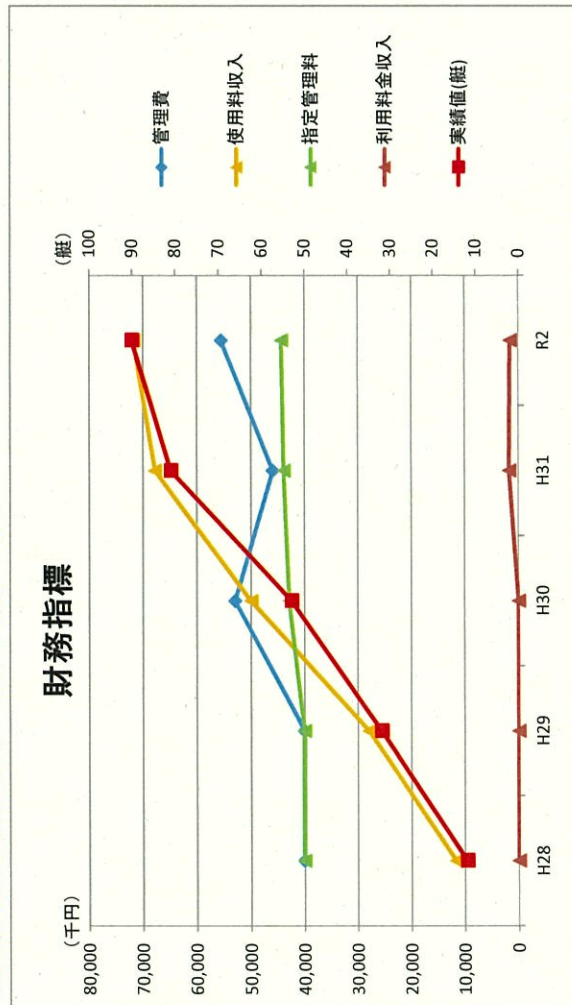
<各評価項目点数>

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

施設名称: 与那原マリナー

指標	指定管理(供用開始)																			
	単位	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
成果指標	利用艇数 (年平均値)	艇	-	20	30	40	70	85	107	140	147	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実績	艇	-	12	32	53	81	90	120	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
財務指標	目標比	%	-	60%	107%	133%	116%	106%	112%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	H28比	%	-	100%	267%	442%	675%	750%	1000%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	指定管理料(県支出)	千円	-	40,000	40,000	42,881	43,902	44,305	44,305	44,305	44,305	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	修繕費(県支出)	千円	-	0	0	10,013	2,000	11,182	6,452	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	県負担割合(指定管理料/管理費計)	%	-	100.0%	100.0%	81.1%	95.6%	87.3%	87.3%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利用料金収入	千円	-	-	-	-	1,724	1,547	2,002	2,002	2,002	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利用料金比率(利用料金/収入計)	%	-	-	-	-	2.5%	2.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	使用料収入(施設使用)計	千円	-	11,616	27,902	50,016	67,742	71,731	84,543	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	管理費計	千円	-	40,000	40,000	52,894	45,902	55,487	50,757	44,305	44,305	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収支	千円	-	-28,384	-12,098	-2,878	-2,502	-177	-1,156	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
収益率(収支/収入計)	%	-	-244.4%	-43.4%	-5.8%	-3.7%	-0.2%	-1.4%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
一艇あたり管理コスト	円	-	3,333.333	1,250.000	998.000	566.691	616.522	422.975	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
一艇あたり指定管理料	円	-	3,333.333	1,250.000	809.075	542.000	492.278	369.208	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※施設毎に、経営状況を分析する上で必要となる指標の加除可



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載
R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R8年度 R9年度 R10年度 R11年度 R12年度 R13年度 R14年度 R15年度

R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R8年度 R9年度 R10年度 R11年度 R12年度 R13年度 R14年度 R15年度

R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R8年度 R9年度 R10年度 R11年度 R12年度 R13年度 R14年度 R15年度

R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R8年度 R9年度 R10年度 R11年度 R12年度 R13年度 R14年度 R15年度

R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R8年度 R9年度 R10年度 R11年度 R12年度 R13年度 R14年度 R15年度

目標設定の考え方 ※目標設定の根拠や考え方をなどを記載
R4年度 R5年度 R6年度 R7年度

R4年度 R5年度 R6年度 R7年度

R4年度 R5年度 R6年度 R7年度

R4年度 R5年度 R6年度 R7年度

労働条件等自主点検表

施設名称	与那原マリーナ	対象年度	令和3年度
指定管理者名	サンライズリゾート与那原マリーナ管理運営共同企業体		

※ 以下の確認事項に従い、指定管理者による確認結果欄の該当する箇所○を付け、記入が必要な箇所については記入願います。

確認事項	指定管理者による確認結果						
<p>1 労働条件の明示 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職(解雇の事由を含む。)、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。</p> <p>労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職(解雇の事由を含む。)、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職(解雇の事由を含む。))については、書面を交付しなければなりません[労働基準法(以下「法」といいます。)第15条]</p>	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない		
	1	2	3	4	5		
(3～5については、改善が必要です)							
<p>2 就業規則 就業規則(労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職(解雇の事由を含む。))等、労働条件の具体的細目を定めた規則を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。</p> <p>常時10人以上の労働者(パートタイム労働者を含む。)を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません(法第89条) また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません(法第106条)</p>	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である					
		作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない		
	1	2	3	4	5		
(3～5については、改善が必要です) ※社労士に確認済みであり今夏に届け出る。							
<p>3 所定休日 所定休日をどのように定めていますか。</p> <p>休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません(法第35条)</p>	週休2日制		週休1日制		その他		
	完全(毎週)	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下
	1	2	3	4	5	6	7
(7については、改善が必要です)							

8 雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険加入従業員数	うち雇用保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	6	6	—

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	法令に則り全員加入している。

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	—

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(平成〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

9 健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険加入従業員数	うち健康保険未加入従業員数	うち厚生年金保険加入従業員数	うち厚生年金保険未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	6	6	—	6	—

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	法令に則り全員加入している。

確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	—

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(* * 〇年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

料金徴収フロー図

与那原マリーナ施設利用料金

